

絆 きずな ～能美市政報告～

6月議会 一般質問 (2p～3p)

- 市民国際交流団体の活動実態を問う
- 「能美市国際交流ひろば」の概要を問う
- 外国人対応のワンストップ窓口を設置せよ
- 市内公共施設の福祉設備の総点検をせよ
- 「能美市民環境フェア」の概要を問う
- 松任中央浄化センター供用の進捗状況を問う
- ごみ収集月曜祝日の対応について問う

市民の皆様と ふれあう機会を大切にしています！



ボランティアグループ「げんきかい」での市政報告会&意見交換会



新保町での市政報告&意見交換会

市民の声を市政に届けています！



産業経済常任委員会国造地区擁壁現地調査



能美子ども食堂ネットワーク



新しく市内に開所した児童発達支援放課後デイサービス事業所の施設長さんと意見交換

副議長として色々な場にも出させて頂いています！



能美市民生委員児童委員総会



北信越市議会議長会（富山市）



能美沿岸警備協会総会



●市民国際交流団体の活動実態を問う

能美市内には市民が主体となり活動している国際交流団体があります。市民が主体となり世界の国々と交流を重ねることは国と国の政治の垣根を越えて色々な国々と友好関係の基盤を築き、加えて市民の見識を高め国際的見地の人を育てるなど大変有意義な活動と考えます。

現在能美市には、いくつの国際交流団体があり、どのような活動を行っているのか、その活動に対して市としてどのような支援を行っているのか。

答 坂井 俊之 教育委員会管理局长

市内には現在、3つの国際交流団体が、それぞれの目的を持ち精力的に活動を行っている。

N o m i 国際交流協会は、市民ができるだけ自然な形で在住外国人と交流できるような場を提供し、国際理解を深めることを目的として活動を行っている。年間を通して、北陸先端科学技術大学院大学（J A I S T）の留学生を初め、在住外国人と市民との交流の場として国際交流サロンやバスツアーなどを企画し、多くの方々に参加している。

能美市日中友好協会は、日本と中国の相互交流により、理解と認識を深めて友好関係を築き上げ、両国が発展することにより、絆の深い日中関係が構築されることを目的として活動を行っている。特に浙江省義烏市との交流を盛んにし、交流訪問や市内小中学校の書道の作品による相互出展、会員交流研修会などを実施している。

能美シェレホフ親善協会は、「平和と友情」を合い言葉に、姉妹都市であるシェレホフ市と交流の歴史を積み重ねています。姉妹都市相互友好交流活動を初め、交流活動写真展、ロシアより来県、来市者や県内滞在ロシア人（留学生も含めた方々）との交流会、ロシア語の普及活動など、文化やスポーツ、芸術交流を深めるため、多くの市民の参加を呼びかける活動を展開しています。

各団体への支援は、外国籍の市職員を配置、通訳、翻訳などの事業協力、活動補助金の交付、外国語講座開講、諸外国の関連イベント開催、能美市と団体が連携する外国人のための日本語教室の運営や、日本語を教える講師の養成講座の開講を支援している。

●「能美市国際交流ひろば」イベントの概要を問う

「能美市国際交流ひろば」の現在すすめられている内容と、今後の市民への発信の展開は？

答 坂井 俊之 教育委員会管理局长

国際交流団体の活動発表の場、市民と在住、在勤外国人との交流の場など、**国際交流機会の創出と充実を図るべくイベントを企画した**。JAISTの皆さんが気軽に参加出来ることから**辰口まつりと合同開催する**。加えて、ジャパンテントの留学生受け入れ日程とあわせ、今年度、姉妹都市であるシェレホフ使節団もこの時期に来市することから多くの人たちと交流を図れると考える。**食のコーナーでは、ベトナムやブラジルなど世界7カ国の料理の提供**と国際交流団体の活動紹介のコーナーでは、**写真パネルの展示や民芸品、民族衣装の試着体験、ステージでは、ベトナムの踊りを披露**する予定。市広報や市ホームページ、公式フェイスブックなどで広く周知するほか、この国際交流ひろばに**協力を頂ける市民ボランティアも募集**しており、多くの市民と在住外国人を巻き込む形でイベントを盛り上げていきたい

今回の議会にも多くの市民の方々に傍聴頂き ありがとうございました！



●外国人対応のワンストップ窓口を設置せよ

能美市は、金沢市、小松市に次ぐ県内3番目に多い約1,130人で、人口比率では、県内トップとなっている。人手不足の担い手となっている外国人労働者の支援は、市内企業の支援にもつながると考える。**市内外国人住民のため、国際交流窓口などワンストップの窓口を設置できないか。**

答 吉光 年治 総務部長

市では、北陸先端科学技術大学院大学の外国人留学生を初め、人手不足を背景に外国人労働者の転入が増加している。**市民窓口課の相談窓口と市役所の各部署が綿密に連携することにより、外国人対応のワンストップ窓口、また外国人との相互交流の窓口として、市内在住の外国人の方々に対応したいと考えている。**



●市内公共施設の福祉設備の総点検をせよ



視覚障害者の7割に当たる弱視者の方は、点字ブロックの凹凸だけではなく、目で追うことで歩行の助けとなっています。日本盲人会連合によると、全国約34万人の視覚障害者のうち7割の約24万人。デザイン性を考慮しグレーや白色、茶色の点字ブロックが各地で広がり、視覚障害者団体は、弱視の人には見えにくい、黄色にしてほしいと求めています。しかし点字ブロックの色を規制する法律や制度はなく、設置者の裁量に任されています。

能美市においても、弱視者の方にわかりにくい点字ブロックが存在しています。このほか、幅が狭くて一人で入れない障害者用トイレ、自走では車椅子で上がり切れないスロープ、これらは古い施設に多く見られます。

市内公共施設を福祉的観点で総点検を行い、不便のある福祉設備の改修を計画的に行うべき。

答 井出 敏朗 市長

市内公共施設の点字ブロックで周囲と同系統色で、弱視の方には境目が分かりにくい箇所や、災害時に避難所となる小中学校の障がい者用トイレの一部に、出入り口幅が狭く、自走式車椅子が利用できない所が見受けられた。

今後は、障がいのある人が円滑に移動できる環境づくりのため、点字ブロックや障害者用トイレの出入り口幅、スロープの有無、スロープの勾配、優先駐車スペーストイレ等福祉設備について、適時に点検を実施していく。あわせて各種障害者団体から意見を聞き、優先性、緊急性を鑑み、計画を立て環境整備に取り組んでいく。



●「能美市民環境フェア」の概要を問う

能美市の地球温暖化防止活動の施策の柱に、菜の花フェスタがうたわれており、本年度はこの菜の花フェスタの代わりに、市民とともに環境を考える能美市民環境フェアが行われることが計画されていると聞きます。

能美市民環境フェアの概要と趣旨はどのようなものであるのか

答 西村 泰知 市民生活部長

自然と触れ合いながら気軽にエコ体験が楽しめ、環境に配慮した生活スタイルを考える機会として、**10月中旬に辰口の丘陵公園を会場としてイベント実施**の予定。

●し尿処理場についての進捗状況を問う

白山市松任中央浄化センター供用の進捗状況と、経費削減の効果の説明を求めます。

答 西村 泰知 市民生活部長

現在、手取川流域環境衛生事業組合が運営する手取衛生センターでし尿汚泥処理を行っているが、**供用開始後約50年が経過し、老朽化が甚だしい**ことから、同組合を構成する白山市の松任中央浄化センターにその機能を追加整備し、平成33年度秋ごろから供用開始予定である。本市が負担する経費を試算しますと、現在の手取衛生センターに**新たな施設を整備した場合には年間約5,000万円かかることに対し、松任中央浄化センターに新設される施設を利用する場合には約3,600万円に抑えられる**。新設される施設は、概算で約12億円かかり、完成は平成33年度秋ごろの予定。この事業に係る取り決めは、昨年12月15日に、汚水処理施設共同整備事業（M I C S事業）に係る基本協定を本市のほか、白山市公営企業、白山市、野々市市、川北町の5者で締結しており、この協定に基づき事業が進められている。

●ごみ収集月曜祝日の対応について問う

一般可燃ごみは週2回の収集が行われているが、月曜が祝日の場合は、次の日の火曜ではなく前の週の土曜に収集されている。通常、月曜収集の地域は木曜に収集が行われているが、間隔が5日間あると不便だとの市民の方々から以前より声が上がっている。改善ができないか。

答 西村 泰知 市民生活部長

これまでも該当する町会から要望があり委託業者と協議した経緯もあるが、月曜日の代替を火曜日とした場合、**火曜に多くの集積場の可燃ごみを収集運搬することになり、人員の配置や収集車の配車など大変難しい。**

ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

連絡先記載の無いご意見は返信が出来ません、ご返答希望の方は連絡先をお忘れないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail kizuna@3926jp.net http://3926jp.net

